



機械工学科5年 迎山 航基

入学前、私は5年という期間はとても長いものだと考えていました。しかし、入学から卒業までの5年間は予想を上回るスピードで過ぎ去りました。奈良高専は中学卒業から一貫して5年間工学を学び、エンジニアを目指す教育機関です。そのため、クラス替えはなく入学から卒業まで同じクラスという高専ならではの環境で日々の学習を行います。この高専という環境で自分が得られたものはエンジニアとして生きていくための確かな技術力、そして何より5年という濃い時間を共に学んだ仲間です。高専で学習する専門科目に塾などはありません。なので、テスト前になると私達のクラスでは教室や図書館に残り協力し合いテストを乗り切ってきました。その過程で切磋琢磨し友情を深め、お互いを成長させたことはかけがえのない思い出の1つです。他にも学習だけでなく、スポーツ大会や修学旅行などの学校行事でさらに仲を深めました。また、5年間の集大成である卒業研究ではいままで学んだ知識をフルに活用し研究に取り組みました。しか

し、研究がなかなかうまく進まず頭を抱えることも多々ありました。この試行錯誤を繰り返して研究を行った経験はこれから困難にぶつかったときでも乗り越えるために大いに役立っていくことだと思います。最後に、高専を卒業するにあたり、いままで支えていただいた家族、5年間の勉強や研究において終始丁寧にご指導して頂いた先生方にこの場をお借りして深く感謝を申し上げます。

機械工学科5年学級担任 小柴 孝

機械工学科5年の皆さん、卒業おめでとうございます。

5年前、入学式で名前を呼ばれる度に、緊張と不安の表情を浮かべながら起立されていた様子が、つい昨日のように思い出されます。5年を振り返り、特に印象的だったのは、個性的なメンバーが多いにもかかわらず、行事等では不思議と纏まりの良かったところ。4月からは、それぞれ就職、進学先で新たな生活がスタートしますが、5年間学生生活を共にした仲間を大切にしてください。今後、さらなる活躍を期待します。



5Mクラスメイト達



卒業
おめでとう



電気工学科5年 金田 亮

月日が経つのは早くあつという間の5年間でした。学生服を着て通学していた私たちが、今はスーツを着ていることに改めて流れた年月を実感します。

高専生活で様々な行事がありましたが、特にスポーツ大会の種目である大縄跳びをクラス全員で跳んだのは良い思い出で、最高点を取った時はクラスの団結力が伺えました。その時一緒に跳んでいた当時の担任の先生には感謝してもしきれません。

このクラスは個性的な人が多く、クラス内で先生のものまねが流行ったり、文化祭の時に看板を作る他にダンボールで着ぐるみを作ったり、コスプレ衣装を作ったりと面白いことが絶えませんでした。そんな一面もありますが、部活動で部長を務めている人も多く真面目な人が多いクラスでもありました。

5年生になりよいよ卒業研究が始まり、なかなか研究がうまくいかないときや発表資料の作成などにより苦しい日々が続きました。しかし、これを乗り越えたことは私たちの中で確かな自信になり、これからの人生の糧になるはず。です。

最後に、ここまで成長できたのは他ならぬ両親と奈良高専で勉強や研究、部活動、進路、様々な面で支えて頂いた教員の方々に深く感謝申し上げます。そして今まで苦楽を共にし、楽しい思い出を一緒に作ってきたクラスメートの皆に感謝し、この文章を締めくくりたいと思います。5年間本当にありがとうございました。



電気工学科5年学級担任 藤井 治久

皆さん、卒業おめでとうございます。苦楽を共にした同級生と別れ、一人ひとりが新しい人生の道のりを歩んで行くことになりました。奈良高専で学んだ知識を今後の人生に役立てて欲しいのは当然ですが、同級生との思い出も大切に生きて行って欲しい。

さあ、大いなる真昼の海へ旅立って下さい。
そして、私も退職します。ありがとう。



5Eクラスメイト達

